



—いわゆる「ごみ屋敷」対策の立法化と推進実務

ごみ屋敷条例の制定・運用—規制による解決(対処)と地域ケアによる予防

～新しい行政課題・ごみ屋敷問題—条例化・運用方策と、福祉部局の参画による推進～

■ごみ屋敷対策の条例化—制定動向と政策法務、略式代執行、運用課題と展望

□[横浜市]「福祉」に重点を置いた条例の構成と推進方策・体制、今後の取組み

■[豊田市]ごみ屋敷条例の制定プロセスと政策法務—関係部署との連携と支援推進体制

□[足立区]「いわゆるごみ屋敷」条例の運用—解決件数100件突破の手法と成果、課題

【講師陣】

出石 稔 氏 / 関東学院大学副学長・法学部教授
飯田 学 氏 / 横浜市健康福祉局企画課担当係長
青木 誠 氏 / 豊田市環境部環境保全課指導調整担当
祖傳 和美 氏 / 足立区環境部生活環境保全課長

日時・会場

10月17日(月)
10:00~16:50
剛堂会館・会議室
 (東京都千代田区)

時	講 義 内 容	
10:00 ~ 11:30	<p>自治体のごみ屋敷対策を考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ごみ屋敷問題の所在(条例の立法事実) 2. 自治体のごみ屋敷対策の経緯 3. ごみ屋敷条例の制定動向 4. ごみ屋敷条例の課題と展望 	<p>関東学院大学副学長 出石 稔 氏</p> <p>【質疑応答】</p> <p>【出石氏プロフィール】 1985年に横須賀市役所入庁。都市整備部建築指導課、職員部事務管理課、総務部行政管理課地方分権担当主査・政策法務担当主査、都市部都市計画課主幹、同部都市総務課総括主幹等を歴任。この間、行政手続条例、情報公開条例の制定に参画したほか、行政組織・定数管理、行政改革、全庁的事務改善、地方分権・政策法務の推進などに積極的に取り組んできた。また、全国初のパブリック・コメント手続の条例化、「横須賀市土地利用基本条例」をはじめとする土地利用調整関連条例の制定などに中心的に関わった。2007年3月末をもって22年間勤めた横須賀市を離れ、同年4月より関東学院大学法学部教授に就任、現在に至る。実務で培った経験を基に、地方自治に関する研究と教育に取り組む。</p>
11:40 ~ 13:00	<p>〔横浜市〕福祉的支援に重点をおいた条例の制定と対策の進め方 ～根本的な問題解決を目指すための取組み～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 横浜市の「ごみ屋敷」対策の基本的考え方 2. ごみ屋敷対策の検討経過 3. 「横浜市建築物等における不良な生活環境の解消及び発生の防止を図るための支援及び措置に関する条例」(案)の概要 4. 推進体制と今後の取組み 	<p>横浜市健康福祉局企画課 飯田 学 氏</p> <p>【質疑応答】</p>
14:00 ~ 15:20	<p>〔豊田市〕ごみ屋敷対策の取組み ～「豊田市不良な生活環境を解消するための条例」制定までの経緯と支援の推進体制～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 条例制定の経緯 2. 条例の概要(パブコメ概要) 3. 関係部署との連携体制 4. 今後の支援推進体制 	<p>豊田市環境保全課 青木 誠 氏</p> <p>【質疑応答】</p>
15:30 ~ 16:50	<p>〔足立区〕「足立区生活環境の保全に関する条例」の制定と運用 ～いわゆるごみ屋敷条例、解決件数が100件を突破!～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「足立区生活環境の保全に関する条例」制定の経緯 2. 解決事例とその手法 3. 今後の課題と対応策 	<p>足立区生活環境保全課 祖傳 和美 氏</p> <p>【質疑応答】</p>

いわゆるごみ屋敷対策 〇ごみ屋敷対策の条例化 — 独居・高齢、孤立化、認知症への自治体対応策

環境対策条例の立法と運用

〔編集執筆〕 宇賀 克也 / 東京大学大学院法学政治学研究所教授
〔執筆〕 辻山 幸宣 / 公益財団法人 地方自治総合研究所所長

島田 裕司 / 足立区生活環境調整担当課長 (東京都)
山本 吉毅 / 荒川区環境課長 (東京都)
清永 雅彦 / 杉並区環境課生活環境担当係長 (東京都)

■ 体裁 : A4判 / 234頁
■ 発行 : 2013年8月2日
■ 定価 : 7,193円 (税・送料込)
(本体6,660円)
■ 研修会参加者特価 : 6,500円

〔第1章〕自治体における「ごみ屋敷」への対応策とその手法

地方自治総合研究所 辻山 幸宣

我々を覆っている困難な課題 / 住み続けられる条件と公法 / 記憶に残る「ごみ屋敷」問題 / ごみ屋敷って? / ごみ屋敷と既存の法令 / 条例による対応の可能性 / 近隣の自治をつくる / 【Q & A】 地域自治の新しい形をどうつくるか

〔第2章〕足立区「生活環境の保全に関する条例」

〜いわゆる「ごみ屋敷」の事例と条例の制定・運用・特徴〜

足立区 島田 裕司

条例制定までの流れ / 現状報告 / 足立区生活環境の保全に関する条例の要点 / 生活環境保全審議会の設置と運営 / 支援内容と区民協力 / 【Q & A】 条例の制定と運用をめぐって

〔第3章〕環境対策条例の事例報告 — 条例の制定と運用

第1節 荒川区「良好な生活環境の確保に関する条例」の制定経緯と運用、課題

条例の制定に取り組んだ理由 / 条例の概要 / 今後の取組みと対応事例について 荒川区 山本 吉毅

第2節 杉並区「生活安全及び環境美化に関する条例」についての内容とごみ屋敷への対応

条例制定の経緯 / 条例の内容 / 「ごみ屋敷」の現状 / 「ごみ屋敷」への対応 / 「ごみ屋敷」の指導の実態 / 「ごみ屋敷」解消への課題 杉並区 清永 雅彦

〔第4章〕環境対策条例の実効性と運用課題

東京大学 宇賀 克也

問題の背景 / 廃棄物処理の観点からの条例による規制 / 安全・安心な町づくりの観点からの条例による規制 / 生活環境保全の観点からの条例による規制 / 公表 / 代執行 / 助成のあり方 / 今後の課題 / 【Q & A】

空き家・巻1

老朽危険家屋等の管理手法 — 条例(議員提案)の制定と政策法務

空き家等の適正管理条例

〔編著〕 北村 喜宣 / 上智大学法科大学院教授

前田 広子 / 所沢市危機管理課防犯対策室長 (埼玉県)
吉原 治幸 / 足立区建築室建築安全課長 (東京都)

塚本 竜太郎 / 柏市議会議員 (千葉県)
進藤 久 / 大仙市総合防災課長 (秋田県)

〔本書を推薦します〕
廣瀬 和彦 / 全国市議会議員会法制部
出石 稔 / 関東学院大学教務部長・法学部教授
宇賀 克也 / 東京大学大学院法学政治学研究所教授

■ 体裁 : A4判 / 162頁
■ 発行 : 2012年8月21日
■ 定価 : 5,141円 (税・送料込)
(本体4,760円)
■ 研修会参加者特価 : 4,700円

〔第1章〕空き家の管理手法と自治体条例の法的論点

上智大学 北村 喜宣

第1節 空き家(空き地)の管理の手法とその課題 — 自治体に求められる対応策 —

「空き家」と「廃屋・老朽家屋」 / 空き家をめぐる状況 / 国土交通省国土審議会(部会)の対応と認識 / 自治体の条例対応 / 自治体の事業的対応 / いくつかの論点

第2節 空き家適正管理条例の法的論点

条例の類型 / 保護法益と権限行使 / 市区町村の空き家適正管理条例の規定事項 / 義務履行確保措置 / 民事的執行 / その他の問題点

〔第2章〕先駆的取り組み報告 — 条例制定の背景、プロセス、運用、効果 —

第1節 [埼玉・所沢市] 空き家等の適正管理に関する条例〜その制定プロセス、運用と効果〜

条例施行までの経緯 / 条例施行の効果と今後の課題 / 【Q & A】 所沢市 前田 広子

第2節 [東京・足立区] 「老朽家屋等の適正管理に関する条例」の仕組みと実務

足立区 吉原 治幸

条例制定までの経緯 / 足立区の老朽家屋の現状 / 「老朽家屋等の適正管理に関する条例」の骨子等

第3節 [秋田・大仙市] 「空き家等の適正管理に関する条例」の取組み 大仙市 進藤 久

条例制定の経緯と実務 / 行政代執行による空き家の解体 / 助成制度を活用して解体した事例 / 今後の課題

第4節 [千葉・柏市議会] 常任委員会提案による「柏市空き家等適正管理条例」の制定

常任委員会提案条例の制定のきっかけ / 常任委員会による審議の経過と条例の概要 / 柏市議会 条例に盛り込むべき具体的手段とその法適合性 / 条例の運用状況と今後の課題 塚本竜太郎

〔第3章〕[パネル討論] 空き家(老朽家屋、空き地等)の適正管理条例の

制定・運用のポイントと法的論点

(空き家・巻2) 空家特措法に先駆ける—

空き家(マンション)対策の自治体政策体系化



■ 体裁 : A4 / 178頁
■ 発行 : 2015年2月20日
■ 定価 : 5,022円 (税・送料込)
(本体4,650円)
■ 研修会参加者特価 : 4,600円

空き家問題のフロントランナー

□ [執筆] 米山 秀隆 / (株) 富士通総研経済研究所 所長主任研究員

空き家の実態から
利活用方策を探る—

(空き家・巻3) 空家特措法の実施方策—

行政代執行の手法と政策法務



■ 体裁 : A4 / 166頁
■ 発行 : 2015年2月20日
■ 定価 : 5,292円 (税・送料込)
(本体4,900円)
■ 研修会参加者特価 : 4,800円

老朽危険家屋の
解体・撤去—

〔監修(執筆)〕 北村 喜宣 / 上智大学法科大学院長
〔コメンテータ・執筆〕 宇賀 克也 / 東京大学大学院教授
〔執筆〕 長谷川高宏 / 大阪市都市計画局建築指導部監察課長 (大阪府)
中山 順博 / 大田区まちづくり推進部建築調整課長 (東京都)
仲村 譲 / 大仙市総務部総合防災課主査 (秋田県)

〔研修会の参加要領〕

■ 日時 : 2016年10月17日(月) 10:00~16:50

■ 会場 : 剛堂会館会議室 (案内図は申込後送付)
東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

■ 申込方法 : 下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)。

■ 参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席、またはメディア参加とさせていただきます。

■ 支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替)
・現金書留・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660

口座名: 榎地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ

地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2016年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX : 03(3234)4993 MAIL : machi@chiikikagaku-k.co.jp

■ 研修会の参加 『ごみ屋敷条例の制定・運用』 : 当日参加 メディア参加

■ 出版物の購入 『環境対策条例の立法と運用』 _____ 冊 空き家・巻2 『空き家対策の自治体政策体系化』 _____ 冊

空き家・巻1 『空き家等の適正管理条例』 _____ 冊 空き家・巻3 『行政代執行の手法と政策法務』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____
TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

〈通信欄〉 ○をつけてください

・支払方法 (銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
・必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛名 : _____